

令和8年度第1回さいたま地域保健医療協議会（書面開催）

議事概要

1 開催日

令和8年8月10日（月）～令和8年9月16日（水）

2 出席者（五十音順）

安藤委員、榎原委員、片山委員、草刈委員、斉藤委員、竹内委員、坪井委員、中田委員、野尻委員、野田委員、松本委員、武藤委員

3 議題

第8次埼玉県地域保健医療計画における「さいたま保健医療圏 圏域別取組」
令和7年度取組実績及び評価の報告について

4 配布資料

- (1) 「さいたま保健医療圏 圏域別取組」（第8次）
- (2) 「さいたま保健医療圏 圏域別取組」令和7年度取組実績及び評価（総括資料）
- (3) 「さいたま保健医療圏 圏域別取組」令和7年度取組実績（詳細資料）

5 議事概要

「1. 感染症対策」に係る御質問・御意見

なし

「2. 健康づくり対策」に係る御質問・御意見

（武藤委員の御意見）

施策の方向（目標）「若い世代から高齢者に至るまで、一人ひとりが自らの健康に関心を高め、生活習慣病の予防や介護予防等の、ライフステージに応じた取組を推進します。また、生涯とぎれない健康づくりを支えるには、個人のライフスタイルに取り入れやすい健康づくりの情報発信や地域コミュニティとの連携等、社会全体で持続的な取組へとつなげる環境づくりも必要となります。」に関して。

介護予防事業において、ますます元気教室を実施しているが、地域コミュニティの連携という部分に関しては大きな事業効果があると実感している。生涯途切れない健康づくりという観点から、ナイトますます元気教室（現役世代が参加できるように夜間帯の実施）の実施を検討していただきたいと思う。

(保健衛生総務課・いきいき長寿推進課の回答)

健康づくりの取組については、現役世代が参加できるよう、夜間や土日等にも開催している。また、幅広い世代や様々なライフスタイルの市民が健康づくりに主体的に取り組むことができるよう、健康マイレージ事業を実施している。

なお、「ますます元気教室」は、介護保険制度に基づき、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防を目的として実施している事業であることから、現役世代に拡大して同教室を実施することは、制度や目的、対象等を踏まえると困難と考えている。

「３．歯科保健対策」に係る御意見

なし

「４．がん医療」に係る御質問・御意見

なし

「５．精神疾患医療」に係る御意見

(斉藤委員の御質問)

「③認知症対策」の詳細資料の「課題・今後の事業展開」として、「認知症高齢者の増加に伴い、認知症の医療へのニーズが高まっているため、引き続き認知症サポート医の活用とかかりつけ医や病院勤務の医療従事者向けの認知症対応力向上研修の受講促進を図っていく。」とあるが、認知症高齢者の増加に伴い医療ニーズが高まる中で、さいたま保健医療圏では認知症サポート医が現在どの程度充足しており、今後どの程度必要と見込んでいるのか。

併せて、浦和医師会からは養成が急務である一方で、適期の研修機会不足や行政負担による養成研修枠の少なさが課題として示されているが、この課題をどのように受け止めているのか。

(いきいき長寿推進課の回答)

本市（さいたま医療圏）においては、令和７年度末までに93名のサポート医を養成してきたところである。養成者数については、国において具体的な数値目標は示されていないが、今後も見込まれる認知症高齢者の増加に併せ、引き続き、養成が必要なものと認識している。

当該養成研修は、国の関係機関（国立長寿医療研究センター）の主催により全国で実施されているが、関東エリアでの開催回数が少ないことや、各回の定員制限、申込受付期間の短さなどにより、近年は本市が負担する受講定員枠にも満たない申込状況が続いている。

こうした課題を踏まえ、受講機会の拡大について関係機関に働きかけるとともに、引き続き、医師会とも連携しながらサポート医の養成に取り組んでまいりたい。

「6. 在宅医療の推進」に係る御質問・御意見
なし

「7. 親と子の保健対策」に係る御質問・御意見
なし